

2020年度 事業報告書

本年度は各事業が滞りなく行われるよう基本的な事業を中心に組み立てて参りました。研究助成事業は、サウンド技術振興部門に25件の応募があり、その中から8件、また音楽振興部門は13件の応募がありその中から5件に助成金を交付致しました。音楽普及支援等事業は音楽普及を目的とした講演動画を配信いたしました。講演会等事業は、5名の研究助成受賞者による講演動画を配信いたしました。機関誌「サウンド」は第36号を発刊し、本年度助成受賞者から6名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めております。調査研究事業はサウンド技術と音楽に関する技術調査を行いました。以下事業経過の概況をご報告申し上げます。

1. 研究助成事業

1)2020年度研究助成

2019年12月より2020年2月29日まで(音楽部門コラボ分野は2020年5月7日まで)を期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の研究機関及び過去の助成申請者等750件余へ機関誌「サウンド」第35号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。その結果サウンド技術振興部門は23の大学等研究機関より25件の応募を得て事前書類審査を踏まえた書面審査にて8件を選定した。音楽振興部門は13の大学等研究機関より13件の応募を得て事前書類審査を踏まえたりモート審査にて5件を選定した。理事長にこれを報告し承認を得て、受賞者へ助成金を贈呈した。審査委員は次の通りである。(所属・役職は審査委員会開催時)

【サウンド技術振興部門】

審査委員長	中島 隆之	(社)電子情報通信学会フェロー
審査委員	安藤 繁	東京大学名誉教授
	坂本 慎一	東京大学教授
	谷萩 隆嗣	信号処理学会会長
	山本 裕	京都大学名誉教授

(50音順)

【音楽振興部門】

審査委員長	渡邊 健二	東京藝術大学教授
審査委員	河合健太郎	株式会社河合楽器製作所取締役副社長執行役員 (コラボ分野専任)
	徳丸 吉彦	聖徳大学音楽学部教授
	西原 稔	桐朋学園大学教授

(50音順)

助成受賞者は次の通りである。(所属・役職は申請時、順番は応募受付順)

【サウンド技術振興部門】

- (1) ソングバードの歌学習からみる音声発声学習臨界期の終結メカニズム
北海道大学理学研究院
博士研究員 田路 矩之
- (2) 超音波による細胞コーティング技術
同志社大学理工学部
教授 小山 大介
- (3) 電子聴診器で収録した肺音に含まれる異常音検出に有効な統計モデルの検討
長崎大学大学院工学研究科
技術職員 山下 優

- (4) 多重解像度深層分析に基づく End-to-End 音源分離のためのウェーブレット基底関数の自動設計
 東京大学大学院情報理工学系研究科
 特任助教 中村 友彦
- (5) 自閉スペクトラム症児の睡眠障害に対する音楽聴取の効果
 東海大学大学院医学研究科先端医科学専攻
 大学院生 山里 亜未
- (6) 吃音改善のための左右異なる遅延時間で再生可能な遅延聴覚フィードバックデバイスの作成
 東京都市大学大学院総合理工学研究科
 客員准教授 安崎 文子
- (7) 国産スギ間伐材を用いた純国産弦楽器の開発 (音響特性の解明と制御・設計手法の確立)
 富山県立大学工学部機械システム工学科
 教授 興津 健二
- (8) Deep-learning-based neural source-filtering models for fast and high-quality music signal generation
 国立情報学研究所コンテンツ科学研究系
 特任助教 WANG XIN

【音楽振興部門】

- (1) コーカサス諸民族の伝承歌謡に関する体系的研究
 大阪大学文学研究科音楽学研究室
 招へい研究員 久岡 加枝
- (2) 人と楽器演奏ロボットとの共生技術による障がいを超えて音楽を能動的に楽しめるバーチャルミュージックの提案と検証
 福井大学大学院工学研究科知能システム工学専攻
 准教授 庄司 英一
- (3) 新しい考え方によるティンパニ奏法の研究
 愛知県立芸術大学音楽学部
 教授 深町 浩司
- (4) パイプオルガンの新機能と電子音響が生み出す新たな音世界:コンサート「響きの接点」
 ～オルガン×電子音響×コーラス～
 同志社中学校・高等学校
 音楽科教諭 佐川 淳

---以下、コラボ分野受賞者---

- (5) サントゥールとピアノのアンサンブルによる新たな可能性の追求 西洋／東洋の価値の接触
 相違／融和点の探求

グループ「Bulbul」
 内海 恵

2)助成研究成果報告概要の配信

2019年度助成受賞者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

3)2021年度研究助成募集活動

2020年12月より2021年2月26日を締切日(音楽振興部門コラボ分野は4月30日)とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対し募集活動を実施した。

2. 音楽普及支援等事業

1)第11回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的に国立音楽大学演奏・創作学科教授 佐竹由美氏【平成23年度音楽振興部門受賞者】による新型コロナウイルス感染拡大の中における音楽大学の現状などについての講演動画を作成し、2020年11月Youchubから配信、及び財団ホームページか

らの閲覧を開始した。

3. 講演会等事業

1) 研究助成受賞者講演会(第38回研究助成講演会)

第38回研究助成受賞者講演会は会場に聴講者を招く演奏講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

2) 研究助成受賞者講演会(第39回研究助成講演会)

第39回研究助成受賞者講演会は会場での講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下5名による講演動画の配信に変更し、2020年12月Youchubで配信、及び財団ホームページからの閲覧を開始した。

【サウンド技術振興部門受賞者】2018年度研究助成テーマ

「加齢や障害により指や手を自由に動かさなくなった人でも自由に演奏を楽しむためにコンピュータはどんな手助けができるのか」

日本大学文理学部情報科学科准教授
北原 鉄朗

【音楽振興部門受賞者】2018年度研究助成テーマ

「中東欧ユダヤ人社会を起源とし1970年代から急速に変容してきた現代クレズマー音楽の演奏様式に関する研究成果の報告」

東京藝術大学音楽学部学理科教育研究助手
三代 真理子

【サウンド技術振興部門受賞者】2019年度研究助成テーマ

「音声器官に医学的な異常がないにもかかわらず発話がうまくいかない感覚を持つ方の発話・発声訓練を支援するシステム開発について」

甲南大学知能情報学部知能情報学科教授
北村 達也

【サウンド技術振興部門受賞者】2019年度研究助成テーマ

「モード振動と放射音場の数値解析を実施。高精度な3次元のジオメトリを作成し物性値や構造の変化によるモード振動と放射音場の変化について解析」

明星大学情報学部情報学科教授
横山 真男

【音楽振興部門受賞者】2020年度研究助成テーマ

「1960年代に作曲家ジェルジ・リゲティにより為されたオルガン製作のための提言とそれに関連する現代的なオルガン製作の具体例について」

同志社中学校・高等学校音楽科教諭
佐川 淳

4. 情報の提供等事業

2020年度研究助成受賞者九州工業大学大学院教授高橋公也氏、東京大学理学系研究科特任研究員磯崎瑛宏氏、東北大学大学院生命科学研究科助教田中雅史氏、沖縄県立芸術大学音楽学部助教若林かをり氏、鹿児島大学教育学部准教授今由佳里氏、琉球大学教育学部准教授岡田恵美氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第36号を編集し2021年1月発行。大学等関係機関、国立国会図書館、過去の助成申請者等750件余へ配布した。

5. 調査研究事業

サウンド技術に関する技術情報の調査を行った。

6. 評議員会・理事会の開催

1) 定款第35条に基づく決議提案(第29回理事会)

(1) 提案

議案「第1号議案 平成31年度事業報告(案)及び収支計算(案)の承認に関する件」

議案内容 定款35条に基づき、平成31年度事業報告(案)、及び収支報告(案)の承認

議案「第2号議案 2020年度収支予算の修正に関する件」

議案内容 2020年度の収支計算において指定正味財産額と一般正味財産額の確定に伴い第28回理事会において議決を頂いた2020年度収支予算の一部修正についての承認

議案「第3号議案 代表理事による評議員への提案に関する件」

議案内容 定款第19条に基づき代表理事が決議の省略を評議員へ提案することについての了承

(2)結果

第1号議案、第2号議案、第3号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、2020年5月14日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案、第2号議案、第3号議案は可決されたとみなされた。

2) 定款第19条に基づく決議提案(第11回評議員会)

代表理事河合弘隆より評議員全員に対して評議員会の決議の目的である事項について下記提案がなされた。

(1)提案

議案「第1号議案 平成31年度事業報告(案)・収支計算報告(案)の承認に関する件」

議案「第2号議案 2020年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件」

(2)結果

当該提案につき評議員全員から同意する旨の書面を受領したので、定款第19条の規定に基づき、2020年6月11日に評議員会の決議があったものとみなされた。

3) 定款第35条に基づく決議提案(第30回理事会)

(1)提案

議案「第1号議案 河合楽器株主議決権行使承認の件」

議案内容 2020年6月26日開催の株式会社河合楽器製作所第93期定時株主総会における全ての議案に(賛)を投ずることについての承認。

株主総会議案は次のとおり。

第1号議案 余剰金の配当の件

第2号議案 取締役10名選任の件

第3号議案 監査役2名選任の件

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

(2)結果

第1号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、2020年6月19日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

4) 定款第35条に基づく決議提案(第31回理事会)

(1)提案

議案「第1号議案 参与選任及び解任の件」

議案内容 定款第29条3項に基づき、参与の選任、及び解任についての承認。

参与選任候補者、参与解任候補は下記の通り。

参与選任候補者

中尾 諭氏(株式会社河合楽器製作所)

参与解任候補者

梶村 秀樹氏

(2)結果

第1号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員

から異議がない意思が示され、2020年8月25日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

5) 定款第35条に基づく決議提案(第32回理事会)

(1) 提案

議案「第1号議案 規定変更の件」

議案内容 テレワーク会議に、役員、評議員、審査委員が参加した場合、日当相当額を支給するため、一般財団法人カワイサウンド技術・音楽振興財団旅費規程付別表の変更(追加)についての承認。

(2) 結果

第1号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、2020年9月30日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

6) 定款第35条に基づく決議提案(第33回理事会)

(1) 提案

議案「第1号議案 2021年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件」

議案内容 2021年度の事業計画(案)は研究助成事業、音楽普及支援等事業、講演会等事業、及び調査研究事業を主体とするもの。2021年度の収支予算(案)については2020年度の決算確定に伴い一部修正が生じ、その措置については理事長へ一任することを了承する。

(2) 結果

第1号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、2021年3月16日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

7. 庶務事項

1) 内閣府への提出書類

2020年6月24日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

- ① 実施事業(公益目的事業)の状況等
- ② 公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて
- ③ 当該事業年度の貸借対照表及び附属明細書
- ④ 当該事業年度の損益計算書及び附属明細書
- ⑤ 当該事業年度の事業報告及び附属明細書
- ⑥ 当該事業年度の監査報告、会計監査報告
- ⑦ 当該事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告
- ⑧ 当該事業年度の正味財産増減計算書内訳表